

飯豊だより

平成26年度 第1回『合同』安全パトロールを実施

飯豊山系砂防事務所では管内で実施している工事について、労働災害や、公衆災害を未然に防止する事を目的として小国支部、関川支部の『合同』安全パトロールを隔月で実施しています。

平成26年7月29日（火曜日）に第1回『合同』安全パトロールを小国管内の工事を対象に行いました。

当日は晴天の中、米沢労働基準監督署からも参加をいただき、受注者の各工事現場代理人・監理技術者・安全管理者10名、発注者監督職員を含む7名、現場技術員4名の計22名で実施しました。

実施箇所は、①中ノ俣川砂防堰堤その他工事 ②足水川砂防堰堤改築外工事の現場で行いました。

安全点検風景

【川入工区】



【川入工区】



【足水川】



【足水川】



点検結果報告風景



講話風景



【事務所第1会議室】

◆ 点検結果報告

- ① 中ノ俣川砂防堰堤その他工事（川入工区）
 - ・砂防堰堤天端からの転落防止措置をとること。
- ② 足水川砂防堰堤改築外工事
 - ・発動発電機等の機器の管理を適切に行うこと。

◆ 講話「労働災害防止及び熱中症対策」について 米沢労働基準監督署 梅木安全衛生課長

○労働災害防止について

- ・建設業は特に労働災害が何時発生してもおかしくない状況にあるので、まずは「安全文化の創造」が大切である。
- ・リスクアセスメントの意味と考え方について

○熱中症対策について

- ・作業環境管理で大事なものはWBGT値（暑さ指数）からの作業管理であり、湿度が重要である。
- ・作業条件を把握し適切な作業時間、休憩時間をとらせること。

本格的な暑さが増し作業も大変となりますが、事故・怪我の無いように務めていきます。